

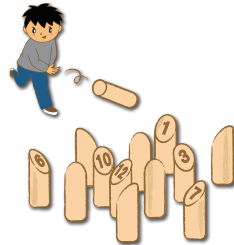
障がいの有無を超えて同じフィールドで。モルックが繋ぐ「全員真剣勝負」

フィンランド発祥の「モルック」は、木の棒を投げ、倒したピンの内容で得点を競うスポーツです。最大の魅力は、障がい、性別、年齢によるハンディキャップを設けず、誰もが「同じルール」で対等に競えること。2025年には国内競技人口が約362万人に達し、パラスポーツの枠も超えた共生競技として注目されています。

藤沢市モルック協会も、この「誰もが平等で最高に楽しめる場」を目指して活動中です。2025年5月の「ジャパンオープン」への参戦を経て、11月には念願の「第1回モルックふじさわカップ」を開催。市内外から24チームが集まり、互いの健闘を称え合う感動の光景が広がりました。

現在は3月の第2回大会に向けて準備を進めています。

モルックを通して、健康増進とともに「喜び」と「感動」を共有しませんか。共に高め合える仲間を、心よりお待ちしております。



パラスポーツ指導者派遣

藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会では、パラスポーツの普及に向けて、各種パラスポーツの体験を希望する団体・地域・学校等の皆様へ指導者の派遣をしています。

ご希望がございましたら、下記事務局へお問い合わせください。当協議会から指導者を派遣できない場合におきましても、各種目団体等と調整のうえ、指導者のご紹介をさせていただきます。ぜひ気軽にご連絡ください。

◆2025年度指導者派遣実績 ※ボッチャ体験指導
(指導者派遣料 例 指導者2人2時間 13,200円～)
2025年

5月 Park フェスティバル 2025
6月 パークウェルステイト湘南藤沢 SST
いきいきセミナーボッチャ大会
7・8月 夏休み!ふくし体験教室
10月 藤沢東部地区社協ボッチャ大会
11月 スポーツまつりふじさわ
12月 藤沢ふれあいフェスタ 2025

2026年
1月 大道小学校福祉体験教室
2月 滝の沢自治会ボッチャ体験講習
3月 こぶし荘ボッチャ体験会



【お問合せ先】 藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会事務局
TEL : 0466-22-5633
(藤沢市みらい創造財団スポーツ事業課内)
Email : parasports@f-mirai.jp

賛助会員募集

当協議会では、スポーツイベントや体験会の開催、情報発信など障がい者スポーツを通じて明るく元気に満ちた共生社会の実現を目指しています。

ぜひ趣旨に賛同いただき、「賛助会員」としてご協力をお願いします。ご支援いただいた賛助金は目的達成のため、市民の皆さまを対象とした事業等、様々な活動に活用させていただきます。

【会 費 (年会費)】

◎ 団体会員 1口以上 (1口 5,000円)

◎ 個人会員 1口以上 (1口 3,000円)

◆申込方法等、詳細は当協議会

ホームページをご覧ください。

<https://f-mirai.jp/para-sports>



や っ て み

第7号

～あなたにもできるから、ぜひ、やってみて～

神奈川県湘南卓球クラブ/藤沢市アーチェリー協会/藤沢市ローリングバレーボール協会/藤沢市山岳・スポーツライミング協会/藤沢市肢体障害者協会

神奈川県パラスポーツ指導者協議会/社会福祉法人光友会/藤沢市スポーツ推進委員協議会/一般社団法人善行大越スポーツクラブ

認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・神奈川/藤沢市/公益財団法人藤沢市みらい創造財団

事務局(藤沢市みらい創造財団スポーツ事業課内) TEL.0466-22-5633 FAX.0466-28-5749

発行日：令和8年3月15日 編集・発行：藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会



ふじさわパラスポーツフェスタ 2025 オープニングセレモニー

会長あいさつ

藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会
会長 種田 多化子



今年度(2025年)は日本で初めて聴覚障がい者スポーツの世界大会『デフリンピック』が100周年を記念して東京を中心に11月に開催されました。手話表現やサインエールが紹介され、会場が盛り上がっている様子が報道されていました。藤沢市ゆかりの選手もメダルを獲得し、日本全体で51個のメダルを獲得する活躍だったそうです。

障がい者スポーツを知ってほしい、障がいがあってもできることがある、スポーツを通して仲間を増やしたいと願い、藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会は2018年8月に設立されました。藤沢市の障がい者スポーツの普及・啓発のため大きく3項目の事業を行って活動しています。ひとつ目は加盟団体・関係団体の意見交換・情報共有です。本協議会は、かながわパラスポーツ協会の加盟団体として連携しています。ふたつ目は情報発信です。本市における障がい者スポーツのイベントや大会、教室などを網羅した「藤沢市障がい者スポーツカレンダー」を今年度も5月に発行しました。そして、年度末には機関誌『やってみ』を発行して、身近な情報をお届けしています。みつっ目は障がい者スポーツのイベントや体験会を開催しています。設立当初から計画して開催しているのが『ふじさわパラスポーツフェスタ』です。今年度で7回目の開催となりました。今回は朝の天候不順により、昨年よりも来場者が少し減りましたが、今回も秋葉台文化体育館において、さらに多くの方に少しでも長く体験し、楽しんでもらうために開会式を省略して湘南ドルフィンズの演奏とファンファーレで開会し、関係団体のみなさまから様々な助言をいただきながら、視覚や聴覚の方への情報保障を展開することができました。そして、デフリンピック競技のスタートランプの体験ブースを設置していただき、大会と同時期に紹介できたことを嬉しく思っています。また今回、体験した障がいのある方で引き続きスポーツを継続したいという方が数名いらしてその後も活動に参加されています。とても嬉しく思います。障がいがない人にとってもスポーツは大切なものですが、障がいがある者にとってスポーツは「かけがえのない宝物」なのです。このフェスタは障がいがあってもスポーツをする喜びが享受できる貴重なイベントです。

さらに12月6日には『藤沢ふれあいフェスタ』が開催され、団体紹介の展示とボッチャ体験のブースを出展し、協力しました。このように協議会として他団体のイベントなどにも出張し、講師を派遣してパラスポーツの普及に努めています。

はじめの一步を踏み出すことは、とても勇気のいることですが、「ぜひ、やってみて」いただきたいと思います。この風光明媚な湘南の地域で多様なパラスポーツの輪が広がることを心から願っています。みなさまのご協力をよろしくお願いします。

令和7年度藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会事業紹介

ふじさわパラスポーツフェスタ 2025を開催しました！

【開催日】 令和 7年 11 月 23 日(日)

【場 所】 秋葉台文化体育館

【参 加 者】 710人(4,113人)

【実施種目】 ボッチャ/ローリングバレーボール/パラバドミントン/
車いすバスケットボール/トランポリン/車いす卓球・卓球バレー/
ワットバイク・スピードチャレンジ/スタートランブ体験/総合案内/障がい者関係法人協議会ブース/
ブラインドクライミング/フライングディスク/ボルク/まちかど健康チェック/
スポーツ相談&パラスポーツ紹介コーナー/障がい者スポーツ VR(360°)体験/パネル展示コーナー/
車いすスラローム/義足体験/車いすテニス/ブラインドサッカー/アーチェリー
スタンプリール開催(4ブースのスタンプを集めて参加賞プレゼント)



※「トランポリン」はセノー株式会社の登録商標です。



アーチェリー



フライングディスク



リズムダンス



車いす卓球

スポーツの秋、今年度も「ふじさわパラスポーツフェスタ2025」が盛大に開催されました。秋葉台文化体育館を会場に、様々なパラスポーツを体験いただくことができました。また、湘南ドルフィンズマーチングバンドの演奏やスペシャルオリンピックスのリズムダンスにより会場を盛り上げていただきました。イベント当日は、障がいの有無にかかわらず、幅広い年代の方々にパラスポーツを楽しんでいただき、笑顔あふれる交流の機会となりました。

こうしたイベントを通じてパラスポーツを取り巻く環境や活動への理解が深まれば何よりです。多くの皆様にご参加をいただきありがとうございました。

来年度は、2026年11月22日(日)に「ふじさわパラスポーツフェスタ2026」を実施予定です。(事務局)



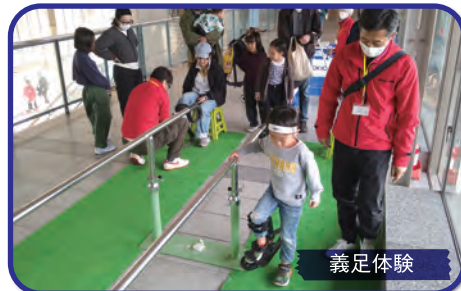
ブラインドクライミング



ブラインドサッカー



車いすバスケットボール



義足体験

藤沢ゆかりのデフアスリート ～今回は、今年度、藤沢市役所へ表敬訪問 いただいた皆様を紹介します～ 藤沢市在住の2選手がデフリンピックで大活躍！

両選手は、2026年1月29日(木)にデフリンピックの大会結果を報告するため鈴木市長を表敬訪問しました。宮城選手は、決勝で惜しくも敗れ2位となったと報告し、12月のワールドカップでの再対戦に向け「次こそ勝利を目指したい」と話しました。大会が初めて日本で開催され、多くの観客から応援を受けられたことを喜んでいました。

荒川選手は、メダルには届かなかったものの出場した全種目で自己ベストを更新したと報告し、大会期間中は各国選手との交流も楽しめたと述べました。両選手の今後の活躍にご期待ください。

荒川 輝久(あらかわ てるひさ)さん(20歳)
水泳
(50m・100m/バタフライ、100m自由形)
岐阜県出身。現在は日本大学生物資源科学部に在学中。大会では複数の種目に出場しました。

11月20日	50m/バタフライ	37位
11月22日	100m自由形	47位
11月24日	100m/バタフライ	20位



宮城 実来(みやぎ みく)さん(24歳)
女子サッカー
沖縄県出身で、藤沢市をホームタウンとする「江の島 FC」に所属し、神奈川県女子サッカーリーグ3部で活躍されるほか、デフサッカー・フットサル日本代表としても活躍されています。

結果 決勝トーナメント
11月25日 日本 0-4 アメリカ 準優勝

これからも藤沢ゆかりのパラスリートを紹介していきますので、皆様からの情報をお待ちしています。

東京2025デフリンピック開催！～2025デフリンピック東京大会の結果について～

第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025が2025年11月15日～26日の12日間開催されました。大会では、国際手話のほか、スタートランブや旗などを使った視覚による情報保障がされることが特徴です。今大会には、79の国・地域から約2,800人の選手が参加し、会場への総来場者数は約28万人、デフリンピックスクエアには、延べ5万人以上の方が訪れました。また、競技動画のYouTube配信は約320万回再生されました。

会場では、一般的にスポーツの応援は声や聴覚=音に頼るものが多く、きこえない・きこえにくいアスリートによる「デフスポーツ」の世界で、観客がアスリートに応援を届けるため新たに開発された『サインエール』での応援が行われるなど、大きな盛り上がりを見せました。

日本代表選手団は、当初の目標の「31個以上のメダル獲得」を大きく上回り、合計51個のメダル(金16個、銀12個、銅23個)を獲得しました。



ポルトガル選手団の事前キャンプ

藤沢市は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催時に、ポルトガル共和国のホストタウンに登録されており、大会終了後も交流が続いています。今回も、善行のアサテススポーツパーク(県立スポーツセンター)で、ポルトガル選手団の事前キャンプが行われ、市民との交流事業も実施されました。



NPO法人藤沢市聴覚障害者協会

今回、私はパラスポーツフェスタに初めて参加しました。きこえない・きこえにくい人は、音が、きこえない・きこえにくい分、視覚情報を使ってスポーツを楽しみます。例えば、よく見る、広い視野で状況を捉える、また体を大きく動かしボディーランゲージで伝える等、工夫を行い、あらゆるコミュニケーションをフルに使い、さまざまなスポーツに取り組むことができます。目で見てわかる陸上のスタートランブは、多くの方に体験してもらいました。

審判の声やピストルの音によるスタートの合図を、光で選手に伝える機器であることを説明しました。スターターはランブを点灯させるボタンとピストルを持ち、「位置について」と合図は赤、「用意」の合図は黄色、「スタート」の合図はピストルが鳴ると同時に緑の光が点灯し、選手に正確な情報を視覚的に伝えます。実際に聞こえる方に、陸上スタートランブの機械を使い、光の合図を見て走る陸上スタートランブ体験してもらおうと、驚きや納得の声をたくさんいただきました。

デフリンピックについては、認知度も低く知らない人が多かったので、YouTubeを使い、デフ陸上やデフバレーボールなどの映像を見てもらいました。もっとデフリンピックのことを知ってもらいたいと感じましたし、きこえない・きこえにくい人のデフスポーツが、もっと広く知られていってほしいと思います。今後とも、きこえない・きこえにくい人への理解と手話の普及のために、頑張って活動を続けていきたいと思っています。

理事長 飯塚冨子